

- 豊翼会 新たなる飛翔のために -



ごあいさつ

豊翼会会長

林田 和隆



豊翼会会員の皆様、お元気ですか。

日本文理大学は昨年、設立40周年を迎えました。航空工学科は設立33年となり、本年3月には31期生62名が卒業し、卒業生も2500名を超えました。航空工学科から航空宇宙工学科への改組も順調に推移しています。

私事ながら、私は日本航空(株)で、整備エンジニアとして30年以上のキャリアがあります。ご承知のように、航空機整備は大勢の命を預かっていますのでミスが許されない仕事です。講義では、知識と技術の融合や人間力としてのコミュニケーション力を、実験や実習を通じても伝えたく思っています。そのため、施設や設備の充実も図っていきます。

以下に、過去2年間のトピックスをお知らせします。会員の皆様の活躍を祈念するとともに、皆様からのご指導、ご支援をよろしくお願いします。

NBU

日本文理大学工学部 航空宇宙工学科 豊翼会

会報ほうよく

第8号(2008年4月)

**Aerospace
Engineering**

トピクス

■日本文理大学40周年

日本文理大学は2007年に創立40周年を迎え、様々な記念行事が行われました。5月19日には大分市iichikoグランシアタにて「日本文理大学40周年記念式典」が盛大に執り行われ、職員・学生・OBのほか一般市民の方約1000名、合計約1600名に参加して頂きました。記念式典では各学科の展示も行われ、航空宇宙工学科も日頃の研究や設備を紹介いたしました。



航空宇宙工学科展示ブース



■公開講座「サイエンス最前線—NBUからの発信—」

日本文理大学40周年記念行事の一環として、マイクロ流体技術研究所の「昆虫型超小型飛翔ロボットの研究開発」プロジェクト3年目の成果発表を、公開講座「サイエンス最前線—NBUからの発信—」として開催しました。航空宇宙工学科からは、マイクロ流体技術研究所所属でもある磯貝教授、小幡教授、藤本教授、河邊准教授がこれまでの研究を分かりやすく発表しました。

- ・磯貝紘二 教授 : 「トンボ型飛翔ロボットの開発に向けて」
- ・小幡 章 教授 : 「トンボに学ぶ空気力学と飛行力学」
- ・藤本達見 教授 : 「トンボのまわりの流れの観察」
- ・河邊博康 准教授 : 「トンボの驚異的な飛行について」

— おおいた教育の日関連事業 —
NBU日本文理大学 創立40周年記念
公開講座
「サイエンス最前線」
～NBUからの発信～

● 日時: 平成19年11月17日(土) 10:00～18:30
 ● 会場: 日本文理大学 大分キャンパス 講堂
 ● 対象: 空域関係/中学生以上
 ● 定員: 100名(定員になり次第締め切ります) (マイクは随時貸出可能)

基調講演 10:00～
「地球環境とバイオテクノロジー—飛ぶ未来の奇蹟—」
 東北大学 石田 秀輝 教授

公開講座 13:00～

13:00～ 「トンボ型超小型飛翔ロボット」の開発について 日本文理大学 磯貝 紘二 教授	13:30～ 「トンボのまわりの流れの観察」 日本文理大学 藤本 達見 教授
14:00～ 「トンボに学ぶ空気力学と飛行力学」 日本文理大学 小幡 章 教授	14:30～ 「トンボの驚異的な飛行について」 日本文理大学 河邊 博康 准教授

「サイエンス最前線」の開催について
 NBUでは、社会と連携し、最先端の研究成果を広く社会に発信することを目的として、公開講座を開催しています。今回は、マイクロ流体技術研究所の研究成果を発表する機会を設け、一般市民の方にもわかりやすく説明します。

15:10～
「サイエンス最前線」の開催について
NBU 羽田野 義徳 教授



ビーチエアクラフト式95-B55型航空機 (バロン55)

■ビーチエアクラフト式95-B55型航空機を導入

航空宇宙工学科では平成18年度から始まる「航空機整備コース」の新たな教材としてビーチエアクラフト式95-B55型航空機(通称バロン55)を購入しました。県立空港の大学格納庫にはパイパー式PA-28-140(通称チェロキー)と合わせて2機となります。

今後、バロン55はチェロキーと共にエンジン試運転やトラブルシュートの授業の中で、将来の航空機技術者を育ててくれると期待されます。

教職員

鈴木二郎先生、吉永崇先生、佐藤輝彦先生、井上敏幸先生の4名が退職され、新たに、大江克利先生（ロケット・宇宙関連担当。三菱重工出身）、直野洋一先生（整備・実験担当。自衛隊の輸送機機長出身）の2名が加わりました。



平成19年度教職員一同

■ 新任教職員のごあいさつ

○ 大江 教授

豊翼会の皆様、お元気でしょうか？生涯現役の気持ちで、ご活躍のことと存じます。南先生の後任として、昨年4月から宇宙関係の講義を担当しています。それまでは、民間企業で、ロケットの設計、製造、最後は種子島でのH-II Aロケットの打ち上げ作業を行っていました。宇宙関係の講義が身近に感じられるように、ロケット関係の部品の収集を始めています。航空宇宙工学科が、今後も益々発展するよう努力致しますので、OBの皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

○ 直野 技術員

平成18年9月から技術員をしています直野です。今までの飛行経験を生かし、皆さんの後輩にあたる方々の勉学・成長の一助となるならばと思っております。よろしくお願いいたします。

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。



平成15年度卒業記念樹

研究・資格

■修士論文

○平成18年度修士論文

「トンボの運動解析と胸部構造に関する研究」

永井 海（河邊・磯貝研究室）

「空力弾性変形を利用したトンビ型羽ばたき翼に関する研究」

播野 洋平（磯貝研究室）

○平成19年度修士論文

「軸対象物体の大迎角コーニングに関するいくつかの動的および可視化の風洞実験」

佐藤 健二（吉永・友成研究室）

「昆虫型飛翔ロボットに適した共振型羽ばたき翼に関する研究」

佐藤 寛幸（磯貝研究室）



平成19年度優秀学生表彰受賞者

■資格取得

○平成18年度

一等航空整備士 …………… 学科合格者 1名

二等航空整備士 …………… 学科合格者 6名

○平成19年度

一等航空整備士 …………… 学科合格者 1名

二等航空整備士 …………… 学科合格者 10名

二等航空運行整備士…………… 学科合格者 2名

航空無線通信士（旧航空級）… 学科合格者 1名

■優秀学生表彰

○日本航空宇宙学会優秀学生表彰

平成18年度 中川 武

平成19年度 田川 優智

○学内「最優秀研究・論文賞」

平成18年度 小幡研究室 篠原章太郎・渋谷健太・島本愛基・

山崎 大・山田千晴

「インドア飛翔からアウトドア飛翔への進化を目指して」

平成19年度 小幡研究室 津野 拓・玉田円匠・姫嶋紘生・藤井康弘

「非羽ばたき方式昆虫型飛翔ロボットの実証研究」



平成18年度西部支部講演会

■学術講演会

○平成18年度

日本航空宇宙学会西部支部講演会（九州大学伊都キャンパス）

・西藤 吉繁（河邊研究室）「視界を考慮した編隊飛行について」

（★優秀学生講演賞を受賞）

・田中 祐輔（磯貝研究室）「ハチドリ飛行能力に関する研究」

○平成19年度

日本航空宇宙学会西部支部講演会（熊本大学）

・三浦 申也（河邊研究室）「トンボの飛行解析について」

・田川 優智（磯貝研究室）「共振型羽ばたき翼の振動特性に関する研究」

学科クラブ活動



2007年度機体「緑風」



2006年度機体「晴嵐」

■鳥人間クラブ

我々 Wind Pilotsは、自分たちの手で航空機を大空へ飛ばしたいという夢を持った学生が集まっています。毎年琵琶湖で行われる「鳥人間コンテスト選手権大会」への出場と記録更新を目標に活動しています。クラブでは機体の設計・製作を全て学生の手で行っており、より良い機体を製作するために研究開発・実験解析など行っています(現在、6年連続で大会に出場しています)。

これまでの成績

2007年	滑空機部門	18位	35.72m
2006年	滑空機部門	6位	235.55m
2005年	滑空機部門	15位	40.85m
2004年	滑空機部門	12位	15.14m
2003年	滑空機部門	4位	248.99m
2002年	滑空機部門	8位	160.86m
グアム国際大会	滑空機部門	2位	95.8 m
2000年	滑空機部門	13位	30.63m
1999年	滑空機部門	6位	107.62m

■航空(グライダー)部

航空部では05年5月の久住滑空場での事故以来、活動自粛や部員減少に直面していました。しかし関係者の努力で、活動が本格的に再開されました。また、07年度には6名の新入部員が加わり、合宿への参加も増えました。学連西部支部では、以下のような取り組みがなされ、「飛ぶ」ための環境が整いつつあります。今後も皆様のご指導をお願いします。

- ・新飛行教官の着任(河邑英樹教官が関東支部から転任)
- ・競技会の再開(久住山岳滑翔大会、西部支部競技会など)
- ・新機体の飛行開始(ドイツ製、九州工業大学所有)
- ・新ウインチの購入(ドイツ製、連盟西部支部所有、OB会からの寄付も頂きました)
- ・久住滑空場の整備(北向き発航、南向き発航、格納庫への電気工事など)



新機体「飛翔」(JA21WK)

学科クラブ活動

■ 航空宇宙研究同好会

個人ではなかなかできない「空の遊び」を楽しむクラブ。基本的に一人一人が好きなことをする、気楽で自由な雰囲気のクラブです。現在の主な活動は、紙飛行機やラジコン飛行機の制作と飛行です。紙飛行機大会にも毎年出場として入賞を果たしています。学園祭では紙飛行機教室を開催。近隣の小学校に指導に行ったこともあります。



フライングクラブ同好会

■ NBUフライングクラブ同好会

歴史も浅くクラブとしての保有機はありませんが、飛行機好きが集まっていろいろな語り合い、パソコンでの操縦練習、航空ショー見学、大分県央空港での小型機体験搭乗等を通して、空についての視野の拡大を図っているサークルです。将来、パイロットの道に進みたいという者もあり、この受験指導も行っています。そのうち、卒業生の中からエアラインパイロットが誕生するのを楽しみにしながら。

■ 手作り紙飛行機コンテスト

手作り紙飛行機コンテストは、例年、日本航空宇宙学会西部支部講演会の中で開催されています。日本文理大学航空宇宙工学科は、第1回大会から参加を続け毎年優秀な成績をおさえています。2006年度大会では3人が受賞し、地元テレビ局から取材を受け、また2007年度大会では2部門で1・2位を独占し、日本航空宇宙学会誌2008年2月号に特集されました。

○第8回大会(2006年11月)

優勝 : 瀧本杜夫(4年)

3位 : 田川優智(3年)

特別賞 : 伊東寿朗(4年)

○第9回大会(2007年11月)

飛行時間部門 優勝 : 津野 拓(4年)

2位 : 田中良介(3年)

飛行距離部門 優勝 : 今村健治(3年)

2位 : 友田恭介(3年)



第8回大会参加者



第9回大会受賞者

学外実習



種子島宇宙センターにて



長崎空港にて



浜松基地にて



JAL成田整備場にて

■ 企業見学

OBの皆様、企業の皆様の協力により、本学科学生の企業見学を行うことができ、実際の現場を見る非常に良い機会を得ることができました。

OBの皆様、企業の皆様、ご協力ありがとうございました。

○2008年2月9日

長崎空港にてORCオリエンタルエアブリッジ(株)を見学

○2007年9月18日ー21日

名古屋地区及び関東地区の企業見学と懇親会

トヨタ自動車、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、三菱重工業名古屋誘導推進システム製作所、航空自衛隊浜松基地、JALエンジンテクノロジー、JAL航空機整備東京

○2007年6月23日ー24日

種子島宇宙センター及び内之浦宇宙空間観測所を見学

○2007年2月19日

航空自衛隊芦屋基地を見学

○2006年9月4日ー7日

名古屋地区及び関東地区の企業見学と懇親会

トヨタ自動車、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、三菱重工業名古屋誘導推進システム製作所、航空自衛隊浜松基地、日本飛行機航空機整備事業部、JALエンジンテクノロジー、JAL航空機整備東京

■ オープンキャンパス

2007年の夏のオープンキャンパスでは、第1線で活躍されている本学科OBの皆様に参加して頂き、それぞれの職業について高校生にアドバイスをして頂くコーナーを設けました。見学に来た高校生からは「漠然としていた仕事がよく分かった」と大変好評でした。

ご協力頂いたOBの皆様、ありがとうございました。

ご参加して頂いたOBの方々

- ・久保山浩一氏(平成14年卒) スカイネットアジア航空(株)
- ・関 隆司 氏(平成14年卒) コスモテック(株)
- ・畠中 元 氏(平成14年卒) オリエンタル・エアブリッジ(株)
- ・山本 純一氏(平成15年卒) オリエンタル・エアブリッジ(株)
- ・吉田 成宏氏(平成17年卒) (株)中央エンジニアリング

卒業生の就職状況

就職率はこの数年100%で、求人も活発です。卒業生の頑張り、高い評価のおかげです。パイロット、1等航空整備士、運航管理者(ディスパッチャー)、航空管制官、B787などの設計や製造、飛翔体関連企業(ロケット、ミサイル)で幅広く活躍しています。

- (株)アイ・エイチ・アイシステムズ
- 朝日航洋(株)
- (株)アルプス技研
- (株)アルトナー
- 石川島汎用機サービス(株)
- (株)エアニッポンネットワーク
- (株)ANAエアクラフトテクニクス
- ANAエアロテック(株)
- (株)ANAテクノアビエーション
- ANAM(全日空整備)(株)
- (株)AGP(空港動力)
- (株)エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ
- (株)MHIEアロエンジン・サービス
- MHIEエアロスペースロジテム(株)
- MHISソリューションテクノロジー(株)
- 大分キャノン(株)
- オリエンタルエアブリッジ(株)
- 川重岐阜エンジニアリング(株)
- 川西航空機器工業(株)
- (株)カンセツ
- (株)コスモテック
- 三愛石油(株)
- 産機エンジニアリング(株)
- 三共技研工業(株)
- 三友工業(株)
- 三和工業(株)
- 下ノ江造船(株)
- (株)JAL航空機整備成田
- (株)JAL航空機整備東京
- (株)JALEンジンテクノロジー
- (株)JALグランドサービス
- スカイネットアジア航空(株)
- (株)第一システムエンジニアリング
- (株)ダイコーテクノ
- 大東製機(株)
- 竹田設計工業(株)
- (株)タマディック
- (株)中央エンジニアリング
- 中菱エンジニアリング(株)
- THK(株)
- 東電工業(株)
- 東明工業(株)
- トリニティ工業(株)
- 内外施設工業(株)
- 九州航空(株)
- 日本建設工業(株)
- (株)日本テクシード
- 非破壊検査(株)
- 藤倉航装(株)
- 富士精工(株)
- (株)富士テクノサービス
- (株)放電精密加工研究所
- 本田技研工業(株)
- (株)ホンダロック
- 三菱自動車エンジニアリング(株)
- 三菱重工業(株)
- ミネベア(株)
- (株)メイテック
- 菱友システムズ(株)
- 警察(福岡,鳥取など)
- 自衛隊

教授・講師の移動報告

※使用研究室(一部、分野関連)等をもとに適宜区分してあります。●は平成19年度在職中

杉浦 邦夫 先生(昭和51年度～平成7年度)

矢頭 祥夫 先生(平成7年度～平成12年度)

● 林田 和隆 先生(平成13年度～)

● 本多 恒夫 先生(平成16年度～)

井改 実 先生(昭和51年度～昭和57年度)

毛利 浩 先生(昭和51年度～昭和63年度)

木村 春夫 先生(昭和63年度～平成8年度)

川建 和雄 先生(平成9年度～平成15年度)

● 磯貝 紘二 先生(平成16年度～)

高月 皓三 先生(昭和54年度～平成5年度)

河野 高顕 先生(昭和63年度～平成6年度)

● 藤本 達見 先生(平成7年度～)

津山 政雄 先生(昭和49年度～昭和54年度)

● 友成 義正 先生(昭和55年度～)

三輪 国男 先生(昭和55年度～平成8年度)

鈴木 二郎 先生(平成8年度～平成18年度)

柳井 良真 先生(昭和50年度～昭和61年度)

恩地 瑛 先生(昭和62年度～平成8年度)

吉永 崇 先生(平成9年度～平成18年度)

高瀬 幸夫 先生(平成4年度～平成13年度)

● 池田 多門 先生(平成14年度～)

長嶋 真也 先生(平成5年度～平成15年度)

南 隆一 先生(平成16年度～平成17年度)

● 大江 克利 先生(平成19年度～)

古茂田真幸 先生(平成7年度～平成12年度)

● 小幡 章 先生(平成13年度～)

吉武 幸夫 先生(平成2年度～平成10年度)

● 河邊 博康 先生(平成11年度～)

本地 弘之 先生(平成14年度～平成17年度)

佐藤 輝彦 先生(平成12年度～平成18年度)

井上 敏幸 先生(平成15年度～平成18年度)

● 竹本 義夫 先生(昭和55年度～)

小川 春央 先生(昭和51年度～平成6年度)

岡田 哲応 先生(昭和53年度～平成8年度)

● 関 幸 先生(平成6年度～平成16年度)

岩田 進 先生(平成8年度～平成15年度)

● 田原 久雄 先生(平成17年度～)

● 直野 洋一 先生(平成18年度～)

臨時技術員

佐久川基之(平成7年度)

片岡 修一(平成8年度)

井上 渉(平成9年度)

岡田 良(平成10年度)

西山 延幸(平成11年度)

仲里 亮二(平成12年度)

寺田 俊輔(平成13年度)

仲西 洋祐(平成14年度)

栗原 将好(平成15年度)

藤田 友輝(平成16年度)

松下 健二(平成17年度)

新川 大友(平成19年度)

豊翼会会計報告

会計担当 准教授 河邊博康

前回の会計報告より2年が経過いたしましたので、平成18年度、19年度の2年分をまとめて報告いたします。
 なお、藤本教授に会計監査をお願いして了承頂きました。

大きな支出としましては、豊翼会ホームページ、豊翼会たより、豊翼会誌の制作費とそれに関わる発送費やアルバイト代となっております。また、定期預金につきましては、平成12年に満期を迎えたままになっておりましたので、平成18年5月に現有の普通預金に移動させました。記念樹用看板代とは、平成15年に卒業した学生たちが卒業記念植樹をしたときの看板が老朽化しましたので、新しい看板に取り替えた費用です。

支出に比べ会費収入が少なく、非常に厳しい状況が続いております。お近くの入会されていない卒業生の皆様にも声をかけて頂いて、ご協力をお願いいたします。

平成18年度・19年度会計報告

収入の部	金額	支出の部	金額
平成17年度繰越分	5,396,973	ホームページ, 豊翼会誌, 豊翼会たより制作費	1,155,000
普通預金利息	5,895	名簿編集作業アルバイト代	90,000
定期預金利息	100	ホームページ更新アルバイト代	150,000
会費	69,940	豊翼会たより発送費	51,300
		記念樹用看板代	24,150
収入の部合計	5,472,908	支出の部合計	1,470,450

次年度繰越分	4,002,458
--------	-----------

次年度繰越分	金額
普通預金	3,765,207
郵便振替	178,840
現金	58,411
合計	4,002,458

豊翼会 会則

第1章 総則

- 第1条 本会は「豊翼会」と称する。
- 第2条 本会の本部は日本文理大学工学部航空宇宙工学科教室に置く。
- 第3条 本会の目的は次の3項とする。
- (1) 会員相互の融和、親睦を計る。
 - (2) 会員の人格の向上と有意義な人生の達成に協力する。
 - (3) 日本文理大学工学部航空宇宙工学科の発展を支援する。
- 第4条 本会は第3条の目的を達成するため、同窓会誌「ほうよく」(名簿、情報連絡、会員短信等)の発行及びその他必要な事業を行う。

第2章 会員

- 第5条 本会の会員は日本文理大学(含大分工業大学)工学部航空宇宙工学科(含航空工学科)の卒業生と在校生及び航空宇宙工学科専任の教職員(含退職者)とする。 本会の会員は死亡又は本会の名誉を著しく傷つけた場合はその資格を失う。
- 第6条 (大学同窓会「一木会」の会則に従うものとする)

第3章 役員

- 第7条 本会に次の役員を置く。役員の任期は2年とし再任を妨げない。ただし、現大学教職員の役員任期は1年とし、再任を妨げない。
- 会長 1名 ■副会長 1名 ■幹事 4名
■会計 1名 ■監査 2名
- 第8条 役員は会員の中より選出し、会長は会員の中より推薦により決定する。
- 第9条 副会長、幹事、会計、監査の役員は会長が指名する。
- 第10条 会長は会務を総括し、副会長、幹事、会計、監査の役員は会長を補佐し、会務を処理する。

第4章 支部

- 第11条 支部は当面次の各地に設け、その地域で活躍する会員相互の親睦及び本部との相互連絡の促進を計るものとする。(1)北海道 (2)東北・関東 (3)中部 (4)関西 (5)中国・四国 (6)九州 (7)沖縄
- 第12条 各支部にはその地域の会員から選出された支部長1名、副支部長1名を置き、支部活動の総括に当たるものとする。任期は2年とし、専任を妨げない。

第5章 運営

- 第13条 役員会は年1回及び必要に応じて会長が招集し次の事項を決定する。
- (1) 会運営の方針
 - (2) 会則の改正、廃止
 - (3) 会計報告
- 第14条 役員会は役員の過半数の出席により成立し、議事は出席者の過半数をもってこれを決定する。
- 第15条 総会は役員会が必要と認められた時、会長が議長となって開催し、議事は出席者の過半数をもってこれを決定する。

第6章 会計

- 第16条 本会の事務は会費、寄付金その他の収入をもって運営する。
- 第17条 本会員の会費は終身会費とし、10,000円とする。
- 第18条 寄付金は役員会の議を経た後、収納する。
- 第19条 会長及び会計役員は毎事業年度毎に事業計画と予算を設定し、役員会の承認を得なければならない。
- 第20条 会長は翌年度の役員会で収支決算書の承認をうけなければならない。
- 第21条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終了するものとする。